

# 農薬を使用する前にラベルを再確認！

## その農薬は正しいですか？

**毒劇物の表示**  
毒物・劇物には、医薬用外毒物・医薬用外劇物の表示があります。保管するときには、他の農薬と分けて保管する必要があるだけでなく、購入時には印鑑が必要となります。

**商品名**  
農薬の商品名が書かれています。

**種類名**  
農林水産大臣が、農薬の有効成分の一般的な名称を基にして決めたものです。種類名が同じであれば商品名が異なっても、同じ成分の農薬です。

**有効成分と量**  
どのような物質が含まれているかがわかるよう、化合物名が書かれています。また、その含有量が表示されています。

**性状**  
製品の色や状態、大きさなどを表しています。

**登録番号**  
農林水産大臣の登録を証明するもの。病虫害の防除などには必ずこの番号が記入されているものを使いましょう。

**農薬の種類**  
殺菌剤・殺虫剤・殺ダニ剤等の区別

**農薬の剤型**  
乳剤・水和剤等の区別

農林水産省登録 第〇〇〇〇〇号

殺ダニ剤  
△△△△水和剤  
ピリダベン水和剤  
100g 入

【成分】ピリダベン・・・20.0%  
(2-tert-ブチル-5-(4-tert-ブチルベンジルチオ)-4-クロロピリダジン-3(2H)-オン  
鉱物質微粉、界面活性剤等・・・80.0%

【性状】類白色水和性粉末 45 μm 以下

□□□株式会社  
住所 〇〇〇〇×××××

**作物名・適用病虫害**  
使用可能な作物名・適用病虫害などが決められています。

**希釈倍数・使用量**  
希釈倍数や、10アール当たりの使用量等を記載しています。

**使用時期・総使用回数**  
使用できる収穫前日数と、成分ごとの総使用回数がかかれています。(商品名が異なっても、成分が同じなら使用回数に数えます。)

**使い方**  
全ての農薬に使用方法が定められています。

**効果・薬害等の表示**  
使用上の注意事項です。使い方によっては、効果が低下したり薬害が出ることがあるのでよく読みましょう

**治療法**  
万一、中毒を起こした場合の治療法が書かれています。医師の適切な処置を受けてください。

**魚毒性等の表示**  
魚介類への注意です。魚介類への毒性が強いものには魚介類注意の表示があります。

**有効期限**  
最終有効期限年月。この表示は2017年10月まで有効であることを意味しています。

**安全使用上の注意**  
守らなければならない注意事項が記載されています。特に注意が必要なものには下記のマークが表示されています。

作物名	適用病虫害	希釈倍数(倍)	10アール当たり散布量	使用時期※	収穫前日数(日)	総使用回数(回)
かんきつ	ミカンハダニ	2,000~3,000	200~700リットル	3日	2回以内	2回以内
	ミカンサビダニ					
	ミカントゲコナジラミ若齢幼虫					
いちじく	チャノキイロアザミウマ	2,000	200~700リットル	7日	1回	1回
	チャノホコリダニ	3,000				
ぶどう	イテジクモンサビダニ	1,000~1,500	200~700リットル	7日	1回	1回
	ハダニ類	1,000~1,500				
もも	チャノキイロアザミウマ	1,000~1,500	200~700リットル	7日	1回	1回
	フタチンヒメヨコバイ	1,000~1,500				
もも	ハダニ類	1,000	200~700リットル	7日	1回	1回
	モモサビダニ	1,000				
もも	ハダニ類	1,000~1,500	200~700リットル	7日	1回	1回
	ハダニ類	1,000~1,500				

★ラベルをよく読む。★記載以外には使用しない。  
★小児の手の届くところには置かない。  
【適用病虫害と使用方法】  
※印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数に、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

**使い方** 散布  
【効果・薬害等の注意】  
●植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布する。  
●連続散布はハダニ類の抵抗性を発達させるおそれがあるので、できるだけ年1回散布とし、他の殺ダニ剤との輪番で使用。  
●散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、調節する。  
●本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。  
【医薬用外劇物の注意】  
●医薬用外劇物。取扱いは十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の処置を受ける。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の処置を受ける。  
●散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換する。  
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。  
●かぶれやすい体質の人は取扱いは十分注意する。


保管  
密閉し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍・乾燥したところでカギをかけて保管する。  
★盗難・紛失の際は警察に届ける。  
★空袋は農場などに放置せず、適切に処理する。


最終有効年月(西暦下2けた) 17. 10 AAB001234


特に**毒物・劇物**については


- ・火災時の措置
- ・漏出時の措置
- ・廃棄時の注意
- ・運送上の注意


の4項目について農薬ごとに注意事項などが記載されていますので、農薬購入時に確認しましょう

メガネ着用 

マスク着用 

手袋着用 

防除着用 

かぶれ注意 

魚介類注意 